

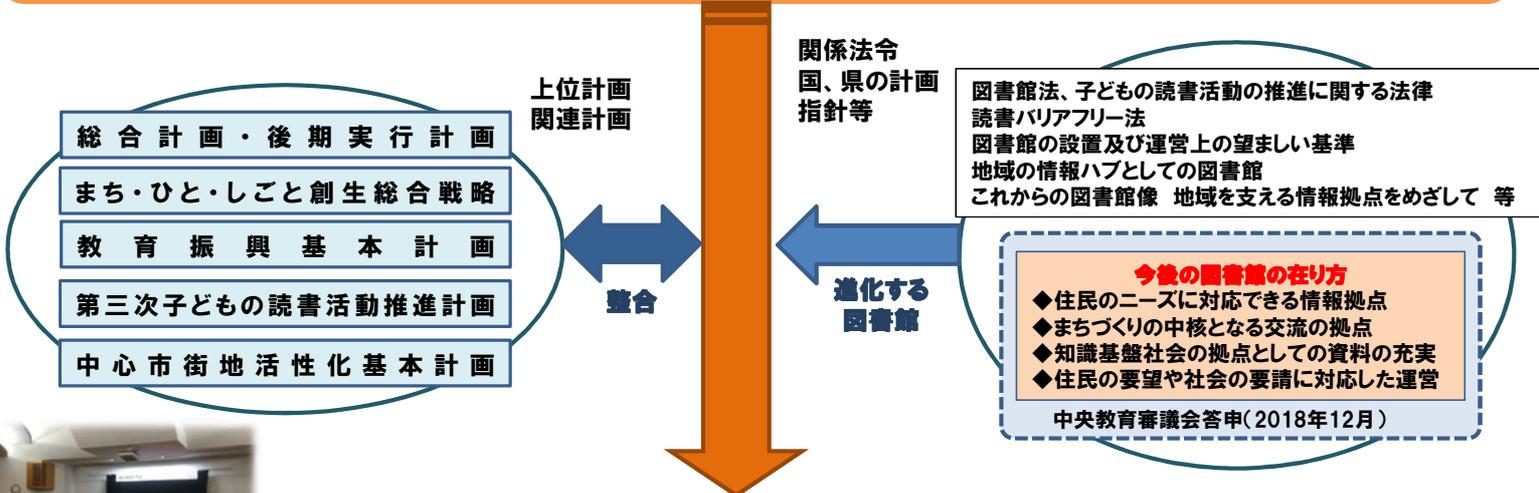
UBE読書のまちづくりビジョンの概要

今、なぜ読書のまちづくり?

- 1 人生100年時代の到来**
 - ・100歳まで生きることが当たり前の社会に
 - ・「人づくり革命」、人材への投資
- 2 Society5.0(超スマート社会)への対応**
 - ・AI(人工知能)をはじめとしたテクノロジーの急速な進化
 - ・スマート自治体への転換をはじめ、仕事のあり方が大きく変化
- 3 グローバル化の進展**
 - ・国際交流、外国人観光客・労働者の増加
 - ・語学教育をはじめ、多様な文化、歴史、宗教等への理解を促進
- 4 共生社会の推進**
 - ・2020年東京オリパラを契機に、バリアフリー社会を加速化
 - ・誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現
 - ・読書バリアフリー法の制定
- 5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進**
 - ・あらゆる人々の活躍の推進
 - ・「人材が宝」みんなでつくる宇部市SDGs

読書のまちづくりに向けての課題

- 1 若者をはじめとした読書・活字ばなれの進行**
 - ・本を読まない市民が約半数(二極化)
 - ・スマートフォン、インターネット等の普及による影響
- 2 読書のまちづくりの拠点となる市立図書館の全面リニューアル**
 - ・多様化する図書館ニーズへの対応
 - ・施設、設備の老朽化
 - ・利用者の固定化
- 3 読書活動を支える人材の確保・育成**
 - ・絵本の読み聞かせ、読書活動を支える人材が不足
- 4 多様な主体の連携・情報発信が不十分**
 - ・図書館、学校、地域、企業等の情報共有、連携が必要
 - ・図書館を中心とした効果的な情報発信ネットワークの確立
- 5 読書のまちづくりに向けての環境整備・気運の醸成**
 - ・誰もがいつでも気軽に本が読める場所・空間の確保
 - ・年齢層(ターゲット)に応じた効果的な啓発・気運の醸成



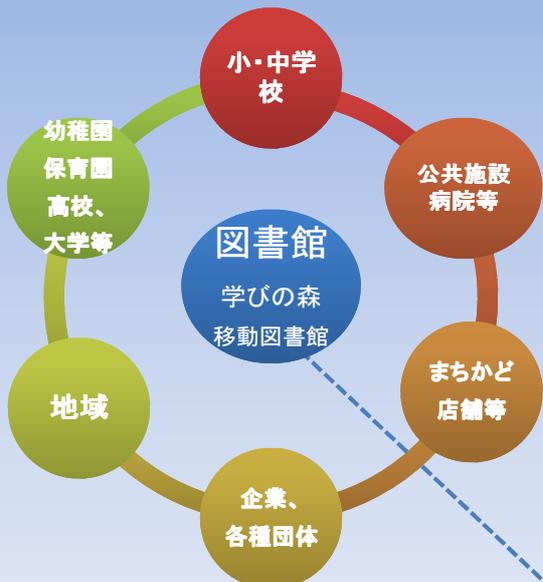
本を通じて「ひと」と「まち」が繋がり、ともに成長する 読書のまち 宇部

人づくり

- ライフステージに応じた読書活動の推進と読書を支える人材づくり
- 子ども・若者の読書活動の推進
 - 読書活動の普及啓発
 - 市民の学びとともに進化する図書館
 - 市民の課題解決との連携
 - 高齢者や障害者等への読書活動支援
 - 読書を支える人材の育成・活動支援

まちづくり

- 市民の誰もが、いつでも、どこでも本に出合えるまちづくり
- どこでも読書に親しめる環境づくり
 - 本を通じたコミュニティづくり
 - 市のまちづくりとの連携



ネットワークづくり

- 読書のまちづくりを進める人・情報・モノのネットワークづくり
- 人がつながる
 - 情報がつながる
 - モノがつながる

「知の拠点、集いの場、憩いの空間」図書館を全面リニューアル

- ICT、AIを活用したハイブリッド図書館
- 「サードプレイス」として市民の誰もが気軽に利用・交流できる図書館
- カフェやスイーツも楽しめる「憩い」の場としての図書館
- 情報発信・情報交流の場としての図書館
- 赤レンガ、彫刻等、宇部の歴史・文化を伝承し、永く愛される図書館

